

衛生管理（公衆衛生・環境衛生問題）

1 世界保健機関に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか

- ① WHOとは、世界保健機関の略称である
- ② 世界保健機関では、健康の定義を「病弱でない」ことに限定している
- ③ 日本も、この機関に加入している
- ④ WHOは、国際連合の専門機関の1つである

2 公衆衛生の歴史上の人物とその業績に関する次の組合せのうち、誤っているものはどれか

- ① リスター……………化学的消毒法
- ② アルコック……………飲料水消毒に次亜塩素酸塩を使用
- ③ パスツール……………化膿した傷に次亜塩素酸塩を使用
- ④ ゼンメルワイス……………産褥熱予防法として手指を塩素水で洗う

3 公衆衛生の歴史上の人物とその業績に関する次の組合せのうち、誤っているものはどれか

- ① コッホ……………外科用材料の蒸気消毒
- ② アンダーウッド……………高圧蒸気滅菌器
- ③ ジェンナー……………種痘法の開発
- ④ ラバラック……………化膿した傷に次亜塩素酸塩を使用

4 保健所に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか

- ① 東京都の特別区（23区）は、保健所を設置している
- ② 保健所には、医師や薬剤師が配置されている
- ③ 理容や美容に関する事項は、保健所の事業に含まれていない
- ④ 後天性免疫不全症候群（エイズ）の予防は、保健所の事業のひとつである

5 保健所の事業に属さないものは、次のうちどれか

- ① 歯科保健に関する事項
- ② 健康保険に関する事項
- ③ 住宅、水道、下水道、廃棄物の処理、清掃その他の環境の衛生に関する事項
- ④ 母性および乳幼児ならびに老人の保健に関する事項

6 保健所に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか

- ① 介護認定審査会が設置されている
- ② 地域における公衆衛生の第一線機関である
- ③ 感染症の予防や精神保健、難病に関する事業を実施している
- ④ 食品衛生関係施設の監視や指導を実施している

7 わが国の死亡に関する次の記述のうち、正しいものはどれか

- ① 粗死亡率は、低下傾向にある
- ② がんによる死亡数は、減少傾向にある
- ③ 年齢調整死亡率は、人口1000人対して1年間に死亡した人の数である
- ④ 年齢別死亡率は、一般的に思春期のころ最も低くなる

8 次の統計資料のうち、公衆衛生水準を表す指標として使用されないものはどれか

- ① 乳児死亡率
- ② 死亡率
- ③ 平均寿命
- ④ 出生率

9 わが国の出生に関する次の記述のうち、正しいものはどれか

- ① 2020年の合計特殊出生率は、2以上である
- ② 2020年の出生数は、200万人以上である
- ③ 近年の高齢化は、出生率の低下がその一因である
- ④ 2020年の人口千人あたりの出生率は、10以上である

10 2020年におけるわが国の出生数は、次のうちどれか

- ① 約204万人
- ② 約104万人
- ③ 約84万人
- ④ 約54万人

11 出生率と関する次の記述のうち、誤っているものはどれか

- ① 合計特殊出生率は、1人の女性が一生の間に産む子供の数で表す
- ② 2020年におけるわが国の合計特殊出生率は、2.0を上回っている
- ③ 出生率は、人口1,000人に対する出生数の割合である
- ④ 出生率の低下は、人口の高齢化の一因である

12 乳児死亡率に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか

- ① 乳児死亡率は、国や地域の健康水準や生活水準を示す尺度でもある
- ② 乳児死亡率は、通常、出生1000人に対する死亡数の値である
- ③ 令和2年におけるわが国の乳児死亡率は、2.7である
- ④ 乳児死亡率は、0歳児についての死亡率である

13 母子保健に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか

- ① わが国の母子保健の水準は概して高い
- ② 妊産婦や乳幼児は、妊娠や出産、健康診断など助産師や保健師から必要な保健指導や訪問指導を受けることができる
- ③ 母子健康手帳は、医療機関から交付される
- ④ 妊娠したときは、速やかに市町村に届け出ることが母子保健法に定められている

14 平均寿命に関する次の記述のうち、正しいものはどれか

- ① 2020年におけるわが国の男女の平均寿命の差は、5年以下である
- ② 平均寿命は、2020年がピークである
- ③ 平均寿命とは、0歳時点の平均余命である
- ④ 平均寿命と地域住民や国民の健康水準は、関係ない

15 生活習慣病に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか

- ① 生活習慣病の予防には、喫煙や暴飲暴食を慎むことが大切である
- ② 生活習慣病といわれるのは、がん、脳卒中、心臓病などである
- ③ 生活習慣病による死亡は、20～30歳代の若い人に多い
- ④ 生活習慣は、脳卒中の発症に関与している

16 次の疾病のうち、生活習慣病でないものはどれか

- ① がん
- ② 脳卒中
- ③ 心臓病
- ④ 肺炎

17 生活習慣病に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか

- ① 虚血性心疾患の患者数や死亡者数は、40歳代以降で加齢とともに急速に増える傾向がある
- ② 悪性新生物の年齢調整死亡率は、増加傾向にある
- ③ 2型糖尿病は、肥満や運動、食事などの生活習慣の改善によって予防できる場合がある
- ④ 脳血管疾患の死亡率は、2000年以降減少傾向にある

18 わが国の主要死因別死亡率に関し、減少傾向にあるものは次のうちどれか

- ① 悪性新生物
- ② 心疾患
- ③ 脳血管疾患
- ④ 肺炎

19 「健康日本21」に関する次の記述のうち、正しいものはどれか

- ① 健康増進法の制定とは関係がない
- ② たばこやアルコールの領域での目標は、設定されていない
- ③ 第2次予防に重点を置いている
- ④ 健康寿命の延伸をひとつの目標としている

20 がんに関する次の記述のうち、正しいものはどれか

- ① わが国では、欧米諸国に比べて胃がんが多い
- ② 男性のがん死亡率のトップは、胃がんである
- ③ 女性のがん死亡率のトップは、子宮がんである
- ④ 乳がんによる死亡は、最近では急激に減少している

21 生活習慣病に関する次の記述のうち、正しいものはどれか

- ① 脳梗塞は、脳の血管が破れて出血するものである
- ② 高血圧や動脈硬化は、脳卒中の発生とは関係ない
- ③ 狭心症と心筋梗塞は、虚血性心疾患である
- ④ 心臓病は、脂肪の過剰摂取、喫煙等とは関係がない

22 生活習慣病に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか

- ① 心臓病による死亡では、狭心症や心筋梗塞が多い
- ② 生活習慣病による死亡の中では、心臓病によるものが最も多い
- ③ 狭心症も心筋梗塞も、冠状動脈の機能が悪くなって起こる疾患である
- ④ 生活習慣病の早期発見のためには健康診断を受けることが望ましい

23 生活習慣病の一つである虚血性心疾患に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか

- ① 運動不足、喫煙、精神的ストレスは危険因子である
- ② 植物性脂肪の過剰摂取が原因の一つである
- ③ 患者数や死亡者数は、年々増加する傾向にある
- ④ 狭心症と心筋梗塞がある

24 次の疾病のうち、糖尿病の合併症に該当しないものはどれか

- ① 白内障
- ② 心筋梗塞
- ③ 統合失調症
- ④ 足の壊疽（えそ）

25 糖尿病に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか

- ① 糖尿病では、血液中のブドウ糖の濃度が増加する
- ② 1型糖尿病の発病には、生活習慣が大きく関連している
- ③ 糖尿病は病気自体が死因となることは少ないが、多くの合併症と関連している
- ④ わが国の糖尿病及びその可能性のあるものの数は多く、国民病の1つといえる

26 喫煙に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか

- ① わが国の20歳以上の男性の喫煙率は、年々増加傾向にある
- ② 健康増進法には、受動喫煙防止について規定されている
- ③ 膀胱がんのり患の危険性を高める
- ④ 受動喫煙は、小児ぜんそくのり患の危険性を高める

27 喫煙とCOPD（慢性閉塞性肺疾患）に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか

- ① COPDは、原因の90%が喫煙である
- ② COPDの発症予防と進行の阻止は喫煙によって可能である
- ③ たばこの煙は発がん物質や発がん促進物質を含んでいる
- ④ 妊婦が喫煙した場合、低出生体重児、早産などの危険性が高くなる

28 飲酒に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか

- ① わが国の1人当たりのアルコール消費量は、昭和20年代から現在まで増加傾向にある
- ② 飲酒量の増加に伴って、アルコール精神病やアルコール依存症が増加する傾向にある
- ③ 飲酒に起因する健康障害には、アルコール依存症のみならず、がん、肝疾患、脳卒中、高血圧なども含まれる
- ④ 「健康日本21（第2次）」においては、未成年者及び妊婦の飲酒防止に関する対策を講じている

29 高齢者人口の対象年齢は、次のうち何歳以上か

- ① 60歳 ② 65歳 ③ 70歳 ④ 75歳

30 わが国の人口の高齢化に関する次の記述のうち、正しいものはどれか

- ① 高齢者の医療の確保に関する法律では、後期高齢者とは、70歳以上の高齢者である
- ② 2020年の国勢調査では、高齢者人口の割合は、35%を超えている
- ③ わが国の2020年の65歳以上の人口は約3600万人である
- ④ 後期高齢者の医療費は、全額国が負担している

31 わが国の人口の高齢化に関する次の記述のうち、正しいものはどれか

- ① 総人口に占める65歳以上の人口割合は、2020年がピークである
- ② 2020年の総人口に占める65歳以上の人口割合は、欧米諸国より低い
- ③ 人口の高齢化のスピードは、欧米諸国よりも速い
- ④ 2020年の総人口に占める65歳以上の人口割合は、15%以下である

32 介護保険制度に関する次の記述のうち、正しいものはどれか

- ① 介護保険制度は30年以上実施されている ③ 保険料の徴収、要介護の認定等、介護保険の運営は主として都道府県が行っている
- ② 介護保険サービスの利用は、全て無料である ④ 介護保険制度による給付の財源は、40歳以上の人からの保険料と公費である

33 介護保険制度に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか

- ① 社会保険方式により、利用者の選択で介護サービスを総合的に利用できる制度
- ② 2000年（平成12年）4月より介護保険制度が実施されている
- ③ 介護保険の運営は、市町村と東京都の特別区が主として行う
- ④ 施設サービスと居宅サービスの2つが介護保険の提供するサービスで、原則的に本人が決める

34 高齢者の身体に関する次の記述のうち、正しいものはどれか

- ① 骨粗鬆症とは、加齢により筋肉量と筋肉が低下する疾患を指す
- ② 加齢に伴ってみられる症状は、身体的機能の低下だけである
- ③ 超高齢化社会となった我が国の人口の約2割が高齢者である
- ④ 体重減少、歩行速度低下、握力低下、疲れやすい、身体活動レベルの低下のうち、3項目以上あればフレイルとみなされる

35 心の健康づくりに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか

- ① 心の健康は、身体状況や生活の質に大きく影響する ③ うつ病は、感情、意欲、思考、身体にさまざまな症状が現れる
- ② 睡眠障害は、「体や心の病気」のサインのことがある ④ 自殺による死亡率は、1958年以降毎年減少し続けている

36 心の健康に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか

- ① 心の健康は、身体状況や生活の質に大きく影響する ③ 自殺による人口10万人あたりの死亡率は、1958年以降現在まで不変である
- ② うつ病は早期発見、適切な治療が重要である ④ 厚生労働省により「健康づくりのための睡眠指針2014」が策定されている

37 高齢者の精神に関する症状のうち、正しいものはどれか

- ① 2020年におけるわが国の高齢者認知症は、約300万人である
- ② 2025年に、わが国の高齢者認知症は、約600万人になると推測されている
- ③ 認知症の中ではアルツハイマー型認知症が最も多く、次に多いのが、脳梗塞や脳出血などの脳血管障害による血管性認知症である
- ④ 高齢者は社会的役割からの解放により身体的、社会心理的な抑圧から解放され気持ちが明るくなる

38 精神保健に関する次の記述のうち、正しいものはどれか

- ① 精神障害者本人の同意なしに、強制的に入院させることはできない ③ 保健所の業務には、精神保健に関することが含まれている
- ② 精神障害者の治療を公費で負担する制度は、まだ設けられていない ④ わが国では、精神保健に関する法律はまだ存在しない

39 わが国における社会現象として、減少傾向にあるものは次のうちどれか

- ① 寝たきり・認知症性老人の割合 ② 生活習慣病患者 ③ 平均世帯人員 ④ 医療費

40 人を取り巻く環境要因に関する次の語句の組み合わせのうち、誤っているものはどれか

- ① 物理的環境要因・・・振動 ② 化学的環境要因・・・光 ③ 社会的環境要因・・・経済 ④ 生物学的環境要因・・・植物

41 環境に対する人の恒常性（ホメオスタシス）に関する次の文章の（ ）内の語句の組み合わせのうち、正しいものはどれか
（ A ）に反応して（ B ）が一定の安定した（ C ）をつくる（ D ）をいう。

- ① A・外部環境 B・内部環境 C・機能 D・生体 ③ A・内部環境 B・生体 C・機能 D・外部環境
② A・外部環境 B・生体 C・内部環境 D・機能 ④ A・内部環境 B・外部環境 C・生体 D・機能

42 空気中の主な成分を多い順に並べた場合、正しいものはどれか

- ① 酸素 > 窒素 > アルゴン > 二酸化炭素 ③ 窒素 > 酸素 > アルゴン > 二酸化炭素
② 二酸化炭素 > 酸素 > 窒素 > アルゴン ④ 窒素 > アルゴン > 二酸化炭素 > 酸素

43 空気成分に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか

- ① 窒素は、不活性ガスである ③ 二酸化炭素は、炭酸ガスともよばれる
② 酸素は、大気中に約21%存在する ④ アルゴン、ネオン、ヘリウムは、地球温暖化に深く関与している

44 空気の成分等に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか

- ① 酸素は空気の約78%を占めている ③ 二酸化炭素は、人の呼気中にも含まれている
② 二酸化炭素は、地球温暖化との関係で注目されている ④ 空気中には、細菌やウイルスが浮遊している

45 日本の四季と疾病に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか

- ① 春季には、スギやヒノキによる花粉症の患者が多くなる ③ 冬季には、季節性インフルエンザの患者が多くなる
② 夏季には、ウイルス性食中毒の発生件数がピークになる ④ 梅雨明け直後は、多くの人が暑さに慣れていないため、熱中症リスクが高くなる

46 一酸化炭素(CO)に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか

- ① 中毒を起すと、死に至る場合もある ③ 無色であり、無臭である
② 換気不良の室内に大勢の人がいると量が増してくる ④ 有機物が不完全燃焼したときに発生する

47 一酸化炭素に関する次の記述のうち、正しいものはどれか

- ① 不快な臭いがする ③ 空気中には窒素に次いで多く含まれる
② 赤血球のヘモグロビンとの結合力が酸素より強い ④ 人間の健康に対する影響はない

48 浮遊粒子状物質に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか

- ① その量とともに、成分や大きさも健康に関係がある
② 大気中の浮遊粒子状物質に関する環境基準が定められている
③ その成分は、粉じん、アスベスト、病原体などさまざまである
④ 浮遊粒子状物質とは、大気中に浮遊する粒子状物質であって、その粒径が1ミクロメートル以上のものをいう

49 温熱環境に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか

- ① 湿度が高くなると、同じ気温でも不快に感じる ③ 快適と感じる温度は、気流の影響をほとんど受けない
② 不快指数が80を超えると、100%の人が不快と感じる ④ 不快指数は、 $0.72 \times (\text{乾球温度} + \text{湿球温度}) + 40.6$ で求められる

50 衣服の着用目的と生地性の性質に関する次の組み合わせのうち、正しいものはどれか

- ① 体温調節・・・通気性 ② 身体保護・・・抗帯電性 ③ 清潔保持・・・防水性 ④ 作業能率増進・・・耐熱性

51 衣服の衛生に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか

- ① 衣服は、外部からの機械的作用による障害を防ぐ目的がある ③ 衣服は、加工処理に使用される薬剤によって、皮膚炎を起こすことがある
② 美容師の作業衣の色は、汚れが目立たないものがよい ④ 衣服は、皮膚表面から分泌される皮脂や汗を吸着して、皮膚を清潔にする

52 室内の環境に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか

- ① 快適と感じる温度は、温度そのものだけでなく、湿度や気流の影響も受けている
- ② 気流は、体表近くの空気層を変化させ、体表水分の蒸発、体熱の放散を促進する
- ③ 冷房が強いと、体温調節の機能のバランスを失って、冷房病といわれる現象をおこす
- ④ 美容所の湿度は、相対湿度30%以下が望ましいとされている

53 住居の衛生に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか

- ① 人の生活する住居の機能性、快適性、安全性は、温熱条件、明るさ、音、空気、広さ、構造、設備で決まる
- ② 換気とは、室内環境を良好に保ち、改善するために外気を取り入れて室内空気と入れ換えることである
- ③ 気密性の高い建築では、機械換気は不要である
- ④ 南向きの窓では照度が高く、北向きの窓では安定した照度が得られる

54 採光と照明に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか

- ① 自然光には、直射日光と、雲を通して光や北の窓からの光などの天空光がある
- ② 晴天日の直射日光の照度は10万ルクスである
- ③ 夜間や地下室等で、人工光線によって明るさをとるのが採光である
- ④ 照明には作業場所だけを明るくする局部照明と部屋全体を明るくする全般照明がある

55 採光と照明に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか

- ① 照度が不適当な場合、眼精疲労や作業能率の低下などを起こす
- ② 間接照明は照明効率が低く、細かい作業に適していない
- ③ 一般に日常生活に不自由のない明るさは、10ルクス程度である
- ④ 直接照明は、照明効率は高いが、コントラストが強かったり影をつくったりして、眼精疲労を起こすことがある

56 冷暖房に関する次の記述のうち、正しいものはどれか

- ① 冷房病とは、冷たい空気を過度に吸いこむことによって起こる呼吸器症状をいう
- ② 体温調節の方法は、冷暖房しかない
- ③ 美容所の衛生管理要領では、冷房時には外気温との差は7℃以内とされている
- ④ 電気ストーブは、二酸化炭素を放出して、室内の空気を汚染する

57 換気に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか

- ① 換気は、室内の空気を新鮮な外気と入れ換え、室内空気を清浄に保つことを主な目的としている
- ② 狭い室内に多くの人がいると、呼吸による一酸化炭素によって、室内の空気が汚染されるので、適切な換気が必要である
- ③ ガスや石油の燃焼による暖房は、二酸化炭素を排出するので、適切な換気が必要である
- ④ 機械換気では、外気の取り入れ量の調節やフィルターの清掃が心がける必要がある

58 上下水道に関する次の組合せのうち、誤っているものはどれか

- ① 上水道水としての適・不適・・・水質基準による
- ② 浄水操作の最終の過程・・・塩素消毒の実施
- ③ 下水処理後の放流水・・・任意の塩素消毒
- ④ 下水処理後の放流水・・・法による水質規制の実施

59 わが国の上下水道に関する次の記述のうち、正しいものはどれか

- ① 浄水操作は、沈殿 → 凝集 → 砂ろ過 → 消毒 の順に行われる
- ② 取水された水は、水質基準を満たす水にするために浄水処理を行う
- ③ 下水道は、生活系や事業系の排水を受け入れ、工場排水は受け入れない
- ④ 水源の割合のうち地表水は約90%を占める

60 わが国の上下水道に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか

- ① 下水道の放流水や上水道の供給水の水質は、法律によって規定されている
- ② 水道水は、取水、導水、浄水、送水、配水の過程を経て供給される
- ③ 我が国の下水道の普及率は90%以上である
- ④ 人が利用を終えた水を下水とよぶ

61 わが国の上下水道に関する次の記述のうち、正しいものはどれか

- ① 需要者に配水された後の水道水の管理責任は、自治体が負う
- ② 浄化槽の設置や保守点検に関する法律は、定められていない
- ③ 下水処理を終えた水は、川や海などの公共用水域へ放流したり、再利用したりする
- ④ 塩素剤は人体に有害のため、取水された水にはいれてはならない

62 下水に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか

- ① 下水を衛生上無害にすることを下水処理という
- ② 下水道は、水道法により規制されている
- ③ 下水は、病原微生物、寄生虫卵、有害物質などを含んでいる
- ④ 公共下水道が整備されていない地域は、し尿を処理する浄化槽が広く利用されている

63 わが国の廃棄物処理に関する次の記述のうち、正しいものはどれか

- ① 産業廃棄物の処理は事業者が自ら行い、業者に委託してはならない
- ② 廃棄物の処理は、直接埋め立てが主流である
- ③ 廃棄物の抑制等を目的とした資源の有効利用に関する法律がある
- ④ 事業系一般廃棄物以外の一般廃棄物の処理は、事業者自身か、業者に委託して行う

64 わが国における廃棄物に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか

- ① 一般廃棄物の処理は、市町村長の責任で行われる
- ② 廃棄物は、収集、焼却、埋め立てなどを経て衛生的に処理される
- ③ 処理を委託される業者には、許可が必要とされている
- ④ 廃棄物の焼却処理は、ダイオキシンを発生するので、わが国では採用しなくなっている

65 わが国における廃棄物に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか

- ① 廃棄物の処理は、焼却し、残渣を埋め立てる方法が主流である
- ② 産業廃棄物の処理は、事業者自らの責任で行うことになっている
- ③ 美容所より排出される髪の毛は、産業廃棄物である
- ④ 保管、運搬、中間処理などを経て、適正に処理される

66 衛生害虫に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか

- ① シラミには、頭部に寄生するアタマジラミという種類のものがある
- ② 蚊は、幼虫、サナギを経て、短いものでは2週間程度で成虫となる
- ③ ダニは、虫体だけでなく、その糞もぜんそくの原因となる
- ④ ハエは、日本脳炎を媒介する

67 衛生害虫に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか

- ① ノミによる吸血は、かゆみを伴い、感染症を媒介するおそれがある
- ② 蚊は、メスがヒトや動物から吸血し、感染症を媒介するおそれがある
- ③ ハエは、黄熱、デング熱を媒介する
- ④ シラミで、人に寄生するのは、ヒトジラミとケジラミである

68 アタマジラミに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか

- ① 主に保育園児、幼稚園児、低学年児童に発生する
- ② 頭皮（表皮）に卵を産む
- ③ 吸血して、かゆみを起こす
- ④ タオルの共用で感染することがある

69 ダニやカビなどに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか

- ① カビが人のアレルギー反応を引き起こすことはない
- ② カビや害虫による被害は、一般的には夏に多いが、暖房の普及とともに、一年中見られるようになった
- ③ 害虫などの駆除に用いる薬剤は、人に有害なこともあるので、使用方法に注意を要する
- ④ ハウスダストの中に含まれているダニの死骸やふんが人のアレルギー反応を引き起こすことがある

70 水質汚濁と下水に関する次の記述の内、誤っているものはどれか

- ① わが国では、水質汚濁防止法によって公共水域の水質を保全している
- ② 美容所では、使用済みの薬品を廃棄する際、十分な流水による希釈が必要であるが使用していない薬品を廃棄する際、希釈の必要はない
- ③ 下水を衛生上無害にすることを下水処理という
- ④ 下水の整備は公衆衛生上の効果を期待できるので、今後の普及向上が必要である

71 美容所の環境衛生に関する次の記述のうち正しいものはどれか

- ① 作業場内の相対湿度は 30～60%がよい
- ② 作業中の作業面の照度は 100ルクス以上なければならない
- ③ 作業場内の炭酸ガスの濃度は、50000ppm以下に保つ
- ④ 作業場内の温度は17℃～20℃がよい

72 美容所の環境衛生に関する次の記述のうち正しいものはどれか

- ① 冷房時の外気温との温度差は10℃以内がよい
- ② 作業場内の相対湿度は 10～40%がよい
- ③ 作業中の作業面の照度は 1000ルクス以上なければならない
- ④ 作業場内の炭酸ガス（二酸化炭素）の濃度は、5000ppm以下に保つ

73 美容所の室内環境を適切に維持するため、美容師法により濃度が規制の対象となっている空気成分は次のうちどれか

- ① オゾン
- ② 二酸化炭素
- ③ 窒素
- ④ ヘリウム